

Educational Program: Access Program

アクセプログラム

美術館によく行く人も、
行きづらさを感じている人も

2026.8－2027.2



アクセスプログラムについて

横浜美術館では、障がいや言語、年齢などにかかわらず、
どなたでも気軽にアートを楽しむための
〈アクセスプログラム〉を開催しています。

※申込不要のプログラムは、事情により内容や実施予定等を変更する場合があります。
ご来館前に最新情報をウェブサイトでご確認ください。

お申込は
ウェブサイトから
詳しくは裏面をご覧ください

コレクション展 | ギャラリートーク

事前申込不要

学芸員やエドゥケーターが、英語や手話の通訳者をまじえて展覧会や作品についてお話しします。参加ご希望の方は当日会場にお集まりください。

●英語通訳付きギャラリートーク

日程＝8月22日 ㊦ 11:00-11:45

●手話通訳付きギャラリートーク

日程＝2027年2月6日 ㊦ 11:00-11:45

※ギャラリートークは、9月18日 ㊦、2027年1月15日 ㊦も開催します（14:00-14:30。英語・手話通訳はありません）。

※全日程で、テレコイル対応の補聴援助システム受信機の貸出をおこないます。
ご利用希望の方は予約フォームよりご予約ください（先着10台）。

会場＝コレクション展示室

※3F展示室ホワイエ（ギャラリー2前）集合。

参加費＝無料

※当日有効の観覧券が必要。

※障がい者手帳をお持ちの方と介護の方1名は無料（ミライロID可）。



英語通訳付きギャラリートーク 撮影：加藤甫



テレコイル対応補聴援助システム
受信機予約フォーム



コレクション展 | オンライン鑑賞会

要事前申込

横浜美術館のコレクションから選んだ作品2～3点をオンラインで鑑賞します。住む場所や暮らし方の違ういろいろな人と一緒に、作品についてお話ししましょう。ご自身が心地よく感じる場所から参加しながら、展示室とは一味違う方法での鑑賞をお楽しみください。

※Zoom（ウェブ会議ツール）を使用します。

※PC、接続環境やZoomの操作につきましては、各自でご準備をお願いします。

日程＝10月4日 ㊦ 14:00-15:30（途中休憩あり）

対象＝鑑賞会に関心のあるすべての人、
美術館への来館が難しい人、発達障がいのある人、
精神障がいのある人など

定員＝10名程度（応募多数の場合は抽選）

参加費＝無料

申込締切＝9月15日 ㊦



企画展 | ことばで一緒にみる鑑賞会

要事前申込

「マリー・アントワネット・スタイル」展の会場内で、目の見える人・見えない人の2人のナビゲーターやエドゥケーターとともに、言葉を通してグループで作品を鑑賞します。

● 視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップ スタッフ

2012年活動開始。全国の美術館や学校で目の見える人、見えない人が言葉を介して「みること」を考える鑑賞プログラムを企画運営している。

日程＝10月13日(火)

① 午前コース (10:30-12:30)

② 午後コース (14:30-16:30) 〈手話通訳申込可〉

対象＝鑑賞会に関心のあるすべての人、

視覚や聴覚に障がいのある人など

※手話通訳を希望する方は、②午後コースにお申し込みください。

定員＝各回8名程度 (応募多数の場合は抽選)

会場＝企画展展示室

参加費＝無料

※当日有効の観覧券が必要。

※障がい者手帳をお持ちの方と介護の方1名は無料 (ミライロID可)。

申込締切＝9月23日 (水・祝)



撮影：加藤甫

📄 もっと多くの方に美術館を楽しんでもらうために

感覚過敏の方に落ち着いて展示をご覧いただけるよう、耳栓、イヤーマフ、サングラス、フィジエットイなどのアイテムを含む「センサリーキット」の貸出をおこなっています。ご希望の方は総合案内にて貸出票にご記入のうえ、必要なアイテムを選んで利用することができます。イヤーマフとサングラスは大人用・子ども用、フィジエットイはさわり心地の異なるものをいくつかご用意しています。総合案内のスタッフと相談しながらお好みのものをお選びください。

※貸出数には限りがありますので、あらかじめご承知おきください。



センサリーキットの内容 撮影：加藤甫

● 横浜美術館の展覧会

小学生以下、観覧無料

※日程や内容等は変更になる場合がございます。最新の情報は当館ウェブサイトでご確認ください。

【企画展】

マリー・アントワネット・スタイル

2026年8月1日(土)－11月23日(月・祝)

休館日＝木曜日 (8月13日、9月24日、11月19日は開館)

歴史上もっともファッショナブルな王妃、マリー・アントワネット。王妃の装いやインテリアは、ファッションから映画まで、広く影響を与えてきました。18世紀に王妃がつくりあげた「スタイル」の源泉が、いかに時代を超えて人々を魅了し、現代のクリエイターたちにも示唆を与え続けているかについて紹介します。

フランソワ＝ユベール・ドルーエ《コートドレスのマリー・アントワネット》1773年
ヴィクトリア&アルバート博物館所蔵
©Victoria and Albert Museum, London



【コレクション展】

海をこえてゆく彼女

2026年8月1日(土)－2027年2月11日(木・祝)

※ただし11月24日(火)－12月10日(土)は閉室

休館日＝木曜日 (8月13日、9月24日、11月19日、2月11日は開館)、
12月29日－1月3日

企画展の主役、マリー・アントワネットにちなみ、国境をこえて活躍した女性たちに着目します。とりわけ本展では、20世紀の世界を舞台にしなやかに、そしてたくましく生きた女性たちの創作をたどります。グローバル化のうねりのなかで生まれた彼女たちの作品にやどる生命力に、どうぞご注目ください。

吉田ふじを《伊国ヴェニス市 ドーデの宮殿》
1906年、吉田千鶴子氏寄贈



申込方法

ウェブサイトの各プログラムの
「申込フォーム」からお申し込みください。

- ◎応募者多数の場合は抽選となります。
- ◎申込フォームからのお申込が難しい方は、
電話、メールでお問合せください。

横浜美術館ウェブサイト「参加する」
<https://yokohama.art.museum/event>



●申込後の流れ

▶受付完了後に「受付確認メール」(自動返信)をお送りします。
すぐに届かない場合は、ご連絡ください。

※登録アドレスに間違いがあるか、メール受信拒否が設定されている場合があります。特にスマートフォンでのお申込の場合は、設定をご確認の上、当館ドメイン@yaf.or.jpの受信設定をお願いします。

▶抽選結果は、申込締切後、全員に原則「メール」でお知らせします。

※メールの受信が難しい方には、その他の方法でご連絡します。

◎やむを得ない事情により、プログラム内容を変更または中止する場合があります。その際は、申込者全員にご連絡します。

◎プログラム中の記録写真、映像を横浜美術館または横浜市芸術文化振興財団のウェブサイトやその他の刊行物に掲載する場合があります。

◎お預りした個人情報、横浜市芸術文化振興財団個人情報保護方針に基づき厳重に管理するとともに、プログラムに関するご連絡や、横浜美術館のご案内以外には使用しません。

●お問合せ

よこはまびじゅつかん
横浜美術館 アクセスプログラム

Tel. 045-221-0300 Email yma-kansho@yaf.or.jp

受付時間10:00-18:00

休館日＝木曜日(8/13、9/24、11/19、2/11は開館)、12/29-1/3

〒220-0012 横浜西区みなとみらい3-4-1



文化庁委託事業

「令和8年度障害者等による文化芸術活動推進事業」

主催：文化庁、横浜美術館 制作：横浜美術館

●アクセス

○みなとみらい線(東急東横線直通)「みなとみらい」駅<3番出口>から、

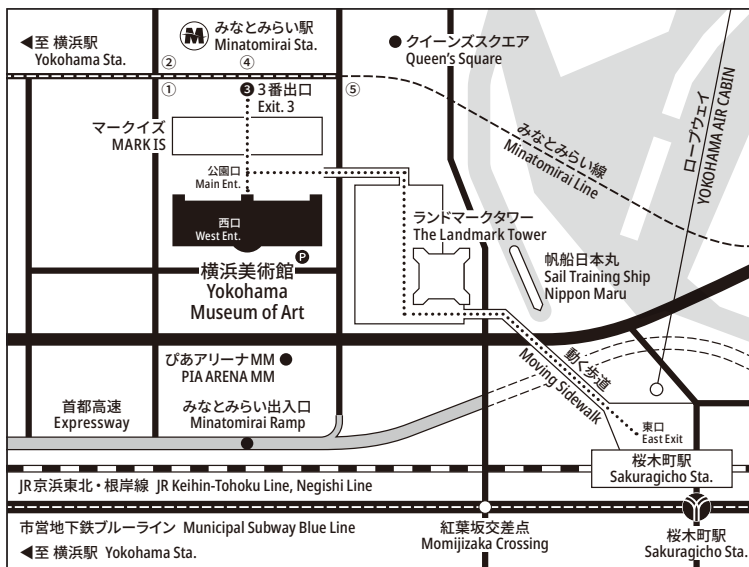
マークイズみなとみらい<グランドギャラリー>経由徒歩3分

○JR京浜東北線・JR根岸線・横浜市営地下鉄「桜木町」駅から、
<動く歩道>を利用、徒歩10分

○駐車場(10:00-21:00、台数157台)最初の90分は500円、
以降30分毎に250円

※自転車・自動二輪車は、周辺の有料駐輪場をご利用ください。

※障がい者手帳をお持ちの方には駐車場割引(最初の90分無料)があります。



アクセシビリティ情報

<https://yokohama.art.museum/visit/accessibility/>

車いす向けルートのアクセス情報や乳幼児対象サービスなど、
ご来館時に必要な情報を掲載しています。



Social Story (ソーシャルストーリー)

はじめて美術館に行きます。 横浜美術館

[当館ウェブサイトにPDFデータ掲載、館内(総合案内)にて配布]

発達障がいがある方やはじめて来館する方などに向けた美術
館案内です。わかりやすい文章と絵や写真で、入館前から
退館までの流れをストーリー形式で紹介しています。



横浜美術館<アクセスプログラム>

メールニュース

今後のアクセスプログラムの開催情報を随時お知らせします。
ご希望の方はQRコードから申込フォームにアクセスしてご登録
ください。



親子で楽しむ横浜美術館

手話によるご案内

[日本語字幕、音声ガイド付き映像/約7分]

大人と子どものナビゲーターが、美術館の施設や
楽しみ方を手話で分かりやすく紹介しています。
YouTubeなどで公開中。



横浜美術館をさらに楽しんでいただくために、さまざまな方を対象としたプロ
グラムを企画しています。詳細は当館ウェブサイトでご確認ください。

●横浜美術館ウェブサイト →

<https://yokohama.art.museum>

